

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
夢あおば	約6.6ha	653kg/10a	159kg/10a(494kg/10a)※

※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

○ 法人経営

○ 主食用米、飼料用米のほか、稲WC S、麦など複合経営に取り組んでいる。

【作付品目】

○主食用米

あいちのかおり、コシヒカリ等 50ha

○飼料用米(種子用を含む)

夢あおば 6.6ha

【取組のきっかけ】

○ 作期分散による農業機械の効率的運用による規模拡大や経営の安定化が図られることを期待し、平成20年産から飼料用米生産に取り組む。

【取組概要】

○ 平成28年産から作業の平準化を目的に中生品種「夢あおば」を選定し栽培に取り組んでいる。

主食用米は「あいちのかおり、コシヒカリ等」で取り組んでおり、一部の主食用米について、直播栽培を実施することにより飼料用米と作期分散を図り効率的な作業を実施している。

○ ①飼料用米の作付けの団地化により生産コスト低減及び作業の省力化・効率化を図る、②密播栽培(10a当たり箱数:12箱)を導入し、資材費と労働力を低減、③田植えと同時に基肥、除草剤を散布することで作業の効率化とともに初期生育の向上を図る、④ドローンを活用した病虫害防除⑤出荷にフレコンを使用し作業効率を高める等の取組みを行っている。

○ 直播栽培の施肥管理については、基肥(化成肥料(41-0-0))を導入している。

○ 中間管理機構を活用して規模拡大を行い、地域農業の担い手として、米、麦、飼料作物などの栽培に取り組んでいる。

